
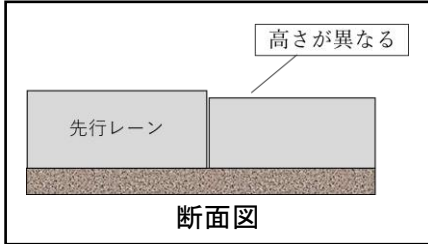



発生箇所	①縦目地
分類	材料・施工
参考箇所	4-8-3 セットフォーム工法(4)舗設の準備
<p>●内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工直後に縦目地部に段差が発生していた。 	
	
<p>●原因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後打ちレーンの施工高さが、先行レーンの高さと異なっていた。 	
	
<p>●発生防止策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦目地部においては、定規や水糸を用いて先行レーンの高さを確認しながら作業を行う。 	
	
<p>●発生した場合の対応策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段差が一定以上ある場合は、低い側の表面に付着したレイトランス等を除去し、樹脂系、ポリマーセメント系のモルタルですり付ける。ただし、ゼロすりつけでははく離する可能性があるため、最小厚さを確保できるようにすりつけ部をはつる。また必要に応じて、接着剤の使用も検討する。 ・段差が極端に大きい場合は局部打換えを行う。 	
